

甲佐町議会だより



清流

第146号

平成25年 8月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 本田 新

6月定例会



あゆまつり（出店）

条例の一部改正・平成25年度一般会計補正予算

・工事請負契約の締結	②
論点Q & Aそこが知りたい	③
一般質問3人ここが聞きたい	④～⑥
第2回臨時会	⑦
傍聴席から一言	⑧

6月定例会

6月定例会は、14日に開会し、17日まで4日間の審議を行った。

案件は、条例案件2件、平成25年度甲佐町一般会計補正予算、工事請負契約の締結、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

なお、一般質問には、3人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

甲佐町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について

消防団員の定員が507名から504名となる
条例の一部改正について、
原案のとおり可決した。

町長等の給料及び旅費に関する条例等の一部改正について

町長、副町長及び教育長に対して、国家公務員の給与減額に伴い、平成25年7月分から平成26年3月分までの給料の額を約2.5%減額する本条例の一部改正を原案のとおり可決した。

平成25年度甲佐町一般会計補正予算（第1号）

1233万6000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、59億1950万9000円とする補正予算について原案のとおり可決した。



甲佐中学校体育館の地鎮祭

・コミュニティ助成事業補助金
239万9000円

・街路灯組合負担金
354万円

・部落公民館改修等補助金
374万6000円

・燃料費
213万4000円

工事請負契約の締結について

甲佐中学校屋内運動場改築工事を契約金額5億3487万円とし、丸昭建設株式会社と工事請負契約を締結することについて、原案のとおり可決した。

甲佐町議会議長本田新氏の不信任決議案について

提案理由

昭和30年1月1日付、旧乙女村、旧白旗村、旧龍野村、旧甲佐町、旧宮内村の5カ町村合併による新町発足以来、本町議会議員の諸先輩方はるか神代の世代から慣例は法に勝るとの貴重な理念のもとに、申し合せ事項として伝授されてきた、議長任期は原則2年交代とする。ただし、再任続投を妨げないとする慣例を継承することも議会制民主主義の原点であり、議会の活性化を促し、よって町政の浮揚発展と町民福祉の向上に寄与することの確信のもと本案を提出する。

反対意見

6年前、慣例があると云うことは誰も言っていない。慣例に従わないのでは不信任案を出すのは遺憾と

思う。

議長として何か足りないところ、まずかったところがあり不信任を出されるのであれば考える余地があるが、慣例・申し合わせということでは賛同しかねる。

賛成意見

3月議会時にこういう事があり伝えたと思う。過去においては4年間全うした各議長は、2年間で一応進退伺いなるものを出して、続投の承認を得るなり、皆さんの賛同を得ていた。

結果

賛成5、反対4、欠席1により可決されました。（当事者及び副議長を除く）

地方自治法

第103条第2項では、「議長及び副議長の任期は、議員の任期による」となっている。法的効力はない。

そこが

知りたいQ&A

6月定例会 質疑より

創造アイデアロボッ トコンテストとは

Q 創造アイデアロボッ
トコンテスト参加負担金
とは。

A 創造アイデアロボッ
トコンテストは略してロ
ボコンと呼んでいるが、
このロボコン大会が県大
会、九州大会さらに全国
大会が開催される。
甲佐中学校内に、ロボ
コンについて詳しい先生
がおられ、生徒たちが誇
りを持ち、一段と元気づ
ける、また学校に活気を
もたらすためロボコン
テスト参加を提案され
た。その参加のための負
担金である。



建設中の立岩団地

町営住宅「立岩団 地」建て替え事業

Q 町営住宅「立岩団地」
建て替え事業が完了する
と、どこの団地の方々が
入居されるのか。また、
転居された跡地の利活用
はどう考えられているか。

A 「立岩団地」の建て
替え事業が完了すると総
戸数40戸の団地となるが
豊内、西寒野、湯田の各
団地の方々の入居を予定
している。
三団地の跡地利用につい

非常備消防団につ いて

Q 消防団員の定数が改
正されているが理由は、
また消防団の再編につ
いての考え、団員一人当
たりの経費はどうなっ
ているか。

A 定数改正については、
507名を504名に減
員するもので実数団員に
合わせた改正である。



甲佐町消防団の再編は

消防団の再編について
は、団員の減少に伴い、
部における団員数が一桁
の部の所もある。これで
は住民が安心、安全で暮
らしていけるため十分な
活動ができるかどうか疑
問であるので、部、分団
の再編が必要と思われる。
今後再編を検討したい。
団員一人当たりに町が
支出している額は、団員
報酬、退職負担金、分団
および部活動費その他の
経費として七万円強である。

コミュニティ助成事 業とは

Q コミュニティ助成事
業が計上されているが内
容は。

A コミュニティ事業に
ついては、六種類の事業
があるが今回の事業は、
一般コミュニティという
ことで上早川自治区が助
成を受けられて実施され
る。

上早川自治区では、二
〇数年前から住民が一体
となった納涼大会等を盛
大に実施されている。そ
れに伴うテント、舞台の
幕、イベント用のかき氷
機、たこ焼き器その他の
備品を備えられる。これ
らの備品は災害時にも利
用される。
今回の一般コミュニテ
ィ事業の助成は250万
円を限度として100%
助成である。

一般質問と答弁

ここが聞きたい

建設課長
着手できていない事業については、一部地権者等の同意が完了していないところがあり、現在実施をしている事業の進捗状況を見ながら検討していきたい。

議員
道路整備5カ年計画の2本の路線が本年度完了予定で、道路整備計画の登載年度が21年度から来年で5年となるが、まだ着手できてない町道等においてはどうなっているか。

道路整備5カ年計画の見直しを



荒田 博員
議



生活道路（下知行幸野線）

町長
町道整備については骨格道路と生活道路の2本立てで計画をしている。骨格道路は、町としても政策的な意味合いもあり、例えば町と町をつなぐような路線もある。これについては、町も一生懸命やっていくべきと思

うが、生活道路は、地元の総意があり、地元の区長さんといういろいろ協議をしながら進めていくべきと思う。町として一生懸命取り組みながら、できる限り計画に沿った整備を進めていきたい。

議員
甲佐町の行政情報をどういう方法で発信しているか。

企画財政課長
広報こうさを毎月全世界に配布している。町のホームページ（HP）を平成13年度に開設し、町の情報、暮らしの情報、子育て・教育、観光・イベント、仕事と産業、それに町政情報の発信をしている。

情報発信について

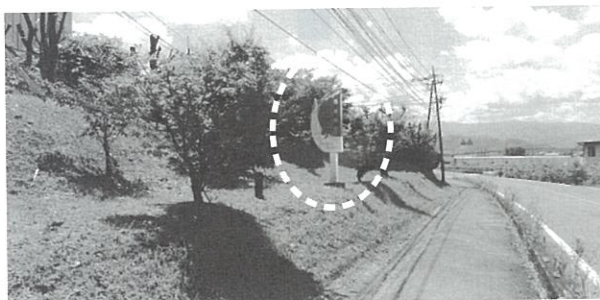
本年度から熊本市圏協議会でスマートフォン等を対象として、自動的に配信できるアプリケーションを開発予定で、この計画は崇城大学と都市圏市

議員
HPについては、トップ画面のトピックスがずっと10マイルロードレースになっているが季節に合ったものに変更しPRできないか、議会広報清流も町のHPに掲載できないか。

町長
また、町外の方にPRするため、町境に案内看板等の設置をしてみてもいいか。

自治体情報に入れている。甲佐町の情報を発信する場合、インターネット等も重要だが案内看板も合わせてPRできると思う。

町長
町の情報発信といった点で、スマートフォンとかフェイスブック、そういった活用もソフト面でも大事なことであり、看板設置においても、道路管理者の県、近隣町村との連携と協議をし、対応を検討していきたい。



国道443号妙見谷付近の看板（見やすい看板を）

地域防災計画の対応は

議員

地域防災地図は、何年前のものか。今後防災計画の対応を聞きたい。

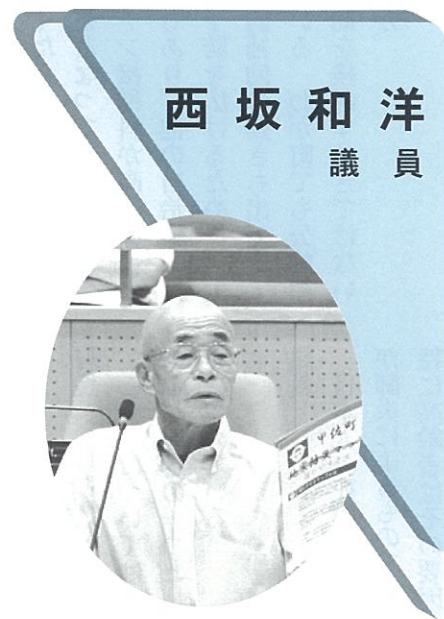
くらし安全推進室長

平成20年3月に2種類作成しており、全家庭に配布している。

地震防災マップは、布

田川・日奈久活断層が動いた場合、最大震度7を想定したもので、各地区では震度階級と建物全壊率を示している。

洪水ハザードマップについては、150年に1回程度の確率で想定して



西坂和洋 議員

いる。これは、緑川流域で日間雨量が355ミリあった場合を想定し、家屋浸水や土石流等の危険箇所も示している。

また、災害発生時の避難場所を図面に表示している。

今後、災害発生時の対応で防災研修会や防災訓練などを行い町民の防災意識の高揚を図りたいと考えている。

6月に防災会議を行い、関係機関団体と連携、協力、支援などにつき、迅速且つ的確な対応及び減災対策などについて協議確認をおこなったところである。

議員

町内において、自主防災組織は何行政区あるのか聞きたい。

くらし安全推進室長

現在19地区で、組織率が51.3%、県下では61.7%、全国は77.4%となっており、自主防災組織の設立は喫緊の課題として設立に向け取り組んでいる。



避難訓練

公共工事の件について

議員

設計、管理委託はどうなっているか。管理まで委託した場合は、総事業の何割なのか。

建設課長

設計業務に係る委託料は、国及び県の基準に基づき算定している。

道路の場合については、

業者選定のための入札を行い、設計業者を決定し、その業者により路線の設計及び数量積算を行う。

次に、職員がその数量に単価を掛け、工事費の算出となる。

建築関係の場合も同様

に、設計業者の選定を行い、実際の設計図を作成し、国・県の単価及び市場単価により工事費の算定を行っている。

管理委託については、

道路関係は行っていないので、一概に何%とか何割とは答えられない状況である。

建築の場合は、昨年度の町営住宅の総工事が約8800万円程度で、管理委託が310万円程度であり、3.6%程度となっている。

今年の工事については、工事費が1億7300万

円で、管理委託が610万円となり、約3.5%となっている。

学校教育課長

中学校の場合は、工事費が14億1200万円、設計委託が3631万円

ということと約2.57%、管理委託は3255万円と約2.31%となっている。

県道稲生野甲佐線の改良は

議員

甲佐高校裏の県道稲生野甲佐線の拡張計画を県に要望しているか。

建設課長

平成22年から県土木部に要望しており、県の方でも概略設計をされているようで、町としても早期完成を要望していきたい。

議員

建設業には、ランク付けがあると思うが、どのようになっているか。

また、請負金額などでランク付けされているのか。

町長

格付けされているのは、事業者の経営事項審査の点数によりAからDまでランク付けされている。

その他

寄附金（ふるさと納税）についての質問があった。



県道稲生野甲佐線甲佐高校裏

井芹 しま子 議員



風疹・肺炎球菌ワクチン接種の公的補助をすべきでは

議員

風疹は妊婦が感染すると子どもさんに目の障害や心臓病などの障害が出るもので、その流行が大きな社会問題になっている。このような障害を防ぐためにも予防接種が重要となっているが、ワクチン接種料が高額なこともあり、他の自治体では予防を広げるために、公的補助の動きも出てきている。わが町でも公的補助を検討すべきではないか。

総合保健福祉センター所長

県内の感染状況は昨年5月末で5件であったが、本年5月末では54件となっている。予防接種費用については、町内の病院では風疹ワクチン単体で6000円から8100円、MRワクチンで8600円から1万1千円となっている。

町長

この件については今後の検討課題の一つとして受け止めている。

議員

日本人の死因の第3位が肺炎によるものであり、特に高齢者はその要因が

高い。

しかし、肺炎球菌ワクチンを接種することにより、肺炎による重症化や死亡を防ぐことができる。県では肺炎球菌のワクチン接種費用の公的助成のモデル事業も始まっている。

高額なワクチン接種費用は年金暮らしの高齢者にとつては負担が大きく、高齢者の健康保持のために、すでに単独で補助を行っている自治体も多い。わが町でも公的補助を実施すべきではないか。



ろくじ館の農産物

町長

県内でもモデル事業として取り組まれているが、必要性が出るようであれば考えなくてはいけないと思っています。

TPP参加について町は明確な反対を

議員

聖域なき関税撤廃を目的とするTPPは、特に農林漁業へ与える被害は甚大だ。それを基幹産業とする地域経済とつてその影響は計り知れない。

また、食の安全も大きな問題である。町民のいのちやくらしに影響や打撃を与えるTPP参加について、町長としてしっかりと反対表明していくべきではないか。

町長

TPP問題では、県内の町村会において、3月の定期総会では例外品目は確保必須、聖域なき関税撤廃は認められない。協議から速やかに撤退離

脱することを求める決議を採択した。全国町村会も同様の意見具申を行っている。今の段階では、私人人としてもこの問題に注意深く見守っていき

公共工事のあり方について

議員

昨年暮れ、国においては、大型の補正予算が組まれ、町は5億円以上の公共工事の補正を組んだ。結果、2億円以上が町へ交付され、その分町独自の予算を使わなくてすんでいるが、公共工事については、生活道路の維持補修や拡幅、通学路整備や、カーブミラーやガードレールなど町民が切実

に求めている整備にもつと力を入れるべきではないか。また、入札については落札率も高く、その上、契約変更も多い、設計に問題はないのか。

町長

公共工事のあり方については本町の場合、国の補助事業を主に使わせてもらっており、特に社会資本整備交付金は65%の補助率があり、残りの35%は過疎債で実質町の負担は10.5%で済んでいる。工事変更については土木工事にしろ、建築工事にしろ、通常は変更があるのが常々であると認識している。



改良が望まれる町道迫防分線



●甲佐町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
甲佐町大字有安248番地、赤星眞照氏の任命を原案のとおり同意した。

専決処分の報告及び承認について

第2回臨時会

6月6日(木) 10時開催

●平成24年度一般会計補正予算(第7号)

438万4000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億6341万円とする補正予算について原案のとおり承認した。

●甲佐町税条例の一部を改正する条例

①農用地総合整備事業に伴う仮換地等に固定資産税の納税義務者の特例措置並びに非課税措置を廃止する。

②特別土地保有者税の納税義務者の特例措置及び非課税措置の廃止に関連する改正。

③国税における延滞金及び還付加算金の見直しに伴い、地方税にかかる延滞金、還付加算金の利率が引き下げられる。

④個人住民税における住宅ローン控除の4年間の延長及び拡充。(控除期間は10年間)

⑤都市再生特別措置法に規定する管理協定の対象となった備蓄倉庫に係る固定資産税等の特例措置を2年間限定で創設。

⑥東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長等の特例。(税制上の特例として、適用期限の延長等を見直しを行う)

⑦東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期間等の特例。

⑧個人の白色申告者に係る記帳義務等について見直しを行う。(平成26年1月から記録保存義務の廃止)

以上、甲佐町税条例の一部を改正する条例について原案のとおり承認した。

●甲佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

①国民健康保険の被保険者に係る世帯別平等割額、後期高齢者支援金等

課税額の世帯別平等割額の一部改正。

(平成25年度分の国民健康保険税から適用)

「国保から後期高齢者医療制度への移行により単身世帯となる世帯に係る世帯別平等割額は、最初の5年間は2分の1減額する措置がある。

それに加えて、その後3年間で4分の1減額する措置を行う」

②国民健康保険税の減額についての一部改正。

「国保から後期高齢者医療制度への移行した方を、軽減判定する特例措置について、適用期限を定めない恒久的な措置とする」

以上、甲佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を10対1で原案のとおり承認した。

平成24年度甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

道路改良事業

4億6379万8000円

町営住宅建替え事業

1億8559万円

中学校建設関連事業

1億7224万3000円

など、

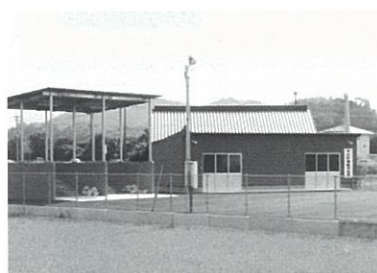
翌年度繰越総額

9億8188万5000円

甲佐町土地開発公社の経営状況報告について

下横田災害用備蓄倉庫用地取得事業

404万円



下横田災害用備蓄倉庫

工事請負契約の締結について

甲佐町大字大町地内

甲佐町営住宅建替え事業2号棟新築工事を契約金額7906万5000円とし、有限会社杉本建設工業と工事請負契約を締結することについて、原案のとおり可決した。

衆議院小選挙区の区割り改定についての意見書の提出について

熊本県第4区の美里町が、熊本県第5区に編入される区割りの改定案に対し、見直しの必要性があるとする意見書の提出を原案のとおり可決した。

訂正とお詫び

甲佐町議会だより第145号のQ&Aに誤りがありました。「3月定例会質疑より」に訂正し、お詫びいたします。

傍聴席から一言

西寒野 前田 孝昭

私も甲佐町に住み育って五十年余りになり、様々な方面でボランティア活動に関わらせてもらっています。

その活動の中では少子高齢化や過疎化等が多く、表面化し考えさせられることがあります。

PTA活動にも長年関わり、二十年前に比べ、子どもたちの減少で行事活動が規模縮小、廃止等で活動できなくなり、さびしいかぎりです。PTAだけでなく、行政区や町の行事についても伝統等を考慮し残すなど、新しい時代に合わせながら変えていくことも必要かと思っています。

「あゆまつり」も日曜日開催で、参加しやすくなり町外からの観光客も増えました。

甲佐町議会でも様々な面で、努力や思案はされておられますが、一日でも早く甲佐町が飛躍できますよう、議会の今後の御健勝と発展を期待しております。



九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会

開催日 平成25年7月5日（金）

開催場所 宮崎県延岡市

ホテル メリージュ延岡

熊本県

熊本市議会

山都町議会

御船町議会

嘉島町議会

益城町議会

甲佐町議会

宮崎県

延岡市議会

日向市議会

高千穂町議会

日之影町議会

五ヶ瀬町議会

門川町議会

熊本県側の嘉島―小池高山間が25年度
開通する。



編集後記

目に青葉、山ほととぎす、初鰹の詩のごとく、山は目に優しい新緑、また、夜も明けやらぬうちから忙しげに鳴く鳥、今頃、元気良く遡上しているであろう若鮎、田んぼではカエルの合唱、すくすく育っている早苗、秋になれば頭を垂れ黄金色の海原となることでしょう。

稲穂が熟れる頃には、遅く育った鮎が私たちの舌を楽しませてくれるでしょう。

我々、広報委員としましても議会だより愛読者の方々に、見やすい、読みやすいような紙面づくりに努めますので、今後ともよろしくご愛読の程をお願いいたします。

（K・N）

議会広報編集特別委員会

委員長 本郷 昭宣
副委員長 井芹しま子
委員 西坂 和洋
委員 福田 謙二
委員 荒田 博